

地域おこし協力隊 活動報告 09

9月21日（土）、22日（日）の2日間、東京国際フォーラムで開催された国内最大級の移住相談イベント「ふるさと回帰フェア2024」。第20回目の開催となる本イベントに、朝倉市は22日（日）に参加しました。北は北海道から南は沖縄まで、全国から約670の自治体・団体が集まりました。

10時の開場から間もなく、相談者は気になる自治体のブースへ向かい相談を行っていました。朝倉市のブースにも午前中からたくさんの相談者が訪れました。現在は東京在住の方がほとんどで、「農業をしたくて1年以内に移住を考えているが、妻は転職する予定なので仕事があるのか相談にきました」、「5年以内に地元福岡に家族と一緒に戻りたい」、「パートナーとの旅行で秋月に行った時に気に入ったので、将来的に移住を考えている」など色々な内容の相談がありました。今回のイベントの合計来場者は2日間合わせて2万8,800人と過去最高で、関東圏での地方移住への意識の高さを感じました。

私にとっては、初の東京出張、初の移住相談イベント。来場された相談者の声は、まさに活きた情報だとピンピン肌に伝わってきました。県外からの移住となれば、家族やパートナーの理解はもちろんのこと、子どもの環境（小学校、中学校や保育園、幼稚園）の変化、移住先での生活環境、就職に関わる雇用関係など考えることが多岐に渡ります。移住を決断するまでには、多くの時間を要することになるので少しでも移住を検討している方の不安を払拭することができるように、精一杯サポートしていきたいと改めて感じました。この経験を朝倉市での活動に持ち帰り、さらなる移住定住の促進につなげていけるようなイベント企画をしたいと思います。



朝倉市のブースでは
9組（13名）の相談がありました。



開場から多くの相談者で賑わっていました。